

安芸中・高校

# 同窓会だより

第34号

同窓会事務局発行

H28.2.26



## ご挨拶

### 東部の拠点校へ

同窓会会長 半田久米夫

同窓生の皆様方には、ご健勝でお過ごしのことと存じます。日頃より、安芸中・高校同窓会の活動・運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私も同窓会会長に就任し二年近くになりました。会の充実、強化、母校との絆を一層深くする目標を立てて運営していますが、十分とはいえず、非力を痛感しているところです。そうした中、二十七年度を本部・支部の役員の皆様のご協力のもと何とか活動できました。その一端を報告させていただきます。学校行事への参加では、三月の卒業式において祝辞を述べ、記念品を贈呈、四月の開校記念日には、同窓生で医師の柏戸正英氏（昭和二十六年卒業）の「若人へ老医師からの贈りもの」と題した記念講演会の聴講、秋の体育祭へも役員等が参加して学校との交流を深めました。

七月には四、五日の二日間、近畿支部と関東支部の総会へ正木校長と門脇事務局長、私の三名が参加しました。両支部とも多くの同窓生が出席して、在学時の思い出話や近況を話し合いました。ただ、ここでも出席者は高齢者が多く、若い人たちに、どうすれば総会へ足を運んでもらえるかが課題になりました。

七月二十五日の本部総会で役員改選が行われ、これまで長い間、副会長を務められた岩崎桂子、小松靖一の両氏と会計監査の松岡瑞氏が退任し、新たに副会長には小松孝、樋口孝子、会計監査には佐々木愛氏がそれぞれ選任されました。退任された方々のご労苦に対して厚くお礼申し上げます。さらに総会では、多くの同窓生に参加してもらおう試みとして「安芸高甲子園の思い出」と題した講演を座談会形式で行いました。門脇事務局長の発案で、昭和三十三年の選抜大会に出場した当時のキャプテン松本準一氏と橋本元成氏、川田幸八氏の三人が出席して下さい、厳しかった練習の思い出や甲子園の土を踏んだ感激後輩への激励などを熱く語りつづけてもらいました。会場内には懐かしい青春の思い出に浸る人の姿が見られたものです。同時に、総会後の懇親会では、今後も趣向を凝らしたプログラムで総会を充実させ、数多くの同窓生とやり取り若い人たちに参加してもらえようにしたいと話しました。皆様方のご意見、ご要望があれば、事務局へご提案ください。

ところで、母校のことですが、中・高一貫校となり十四年、県東部の拠点校としての存在感が高まっています。朝の読書活動や生徒のボランティア活動などは関係者から高い評価を得ています。四月に赴任した正木校長は、安芸高の卒業生で、若くて精力的です。「文武両道」の校風づくりに向けて頑張っています。学力の向上だけでなく、スポーツを通じて「生きる力」「行動力」に富んだ生徒づくりの必要性を常々力説しています。成果を大いに期待していますが、高知県は人口減が激しく、少子化が進んでいるのはご承知のとおりです。こうした状況下で、どうすれば生徒

## 平成二十七年 同窓会総会開催される

平成二十七年七月二十五日（土）安芸市ホテルタマイにおいて、本年度同窓会本部総会が開催されました。

総会に先立ち、今回の記念講演には昭和三十三年第三十六回選抜高校野球出場メンバーの松本準一主将、橋本元成一塁手、川田幸八外野手（第十六回昭和四十年卒）をお招きし、「安芸高甲子園の思い出」と題して座談会方式で当時のお話をお聞きしました。会場入り口には、お借りした出場記念メダルや新聞記事の切り抜き、アルバムが展示され、当時の記憶が鮮明によみがえったひとときを過ごしました。

総会では、平成二十六年年度会務報告、經常会計並びに特別会計決算報告が事務局から行われた後、平成二十七年年度事業計画、經常会計予算並びに特別会計予算等の審議が行われた後、副会長として長年ご尽力いただきました岩崎桂子氏並びに小松靖一氏、監査役員としてご助力いただいた松岡瑞

数を確保できるか、そして、東部の拠点校としての存在感を高めていくかが大きな課題です。県教委も高等学校の再編計画を検討しているようですが、私達同窓生としても無関心ではられません。これからも、伝統ある安芸中・高校が発展するために協力、支援していきたいと考えます。

おわりに、安芸中・高校の益々の発展と同窓生の皆様のご活躍を祈念し、ご挨拶いたします。

氏が退かれ、後任の副会長には小松 孝氏（第十七回昭和四十一年卒）並びに樋口孝子氏（第二十一回昭和四十五年卒）、監査役員には佐々木愛氏（定第十九回昭和四十三年卒）が就任されることとなりました。多年にわたりご助力いただきました役員各氏に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

本会は、半田会長による議事進行のもと、西村俊彦、西澤邦輔両顧問をはじめ、東京同窓会の柏戸正英会長、近畿支部同窓会の水上忠義支部長にご挨拶をいただき、懇親の席では安芸高野球部OBにも多数出席いただき旧制安芸中、安芸高等女学校、安芸高校歌を合唱し同窓の旧交を温め盛会の内に終了しました。

おわりに、記念講演講師として事務局からの依頼を快諾いただき、母校安芸高に深い愛情と感謝の心をもって講演していただいた松本準一氏、橋本元成氏、川田幸八氏の皆様に心からお礼を申し上げます。

安芸高野球部が甲子園出場を成し遂げた東京オリンピック開催の年でもあった昭和三十三年は、本校の歴史の中で、もっとも輝

いた時代ではなかったでしょうか。懐かしい人々や舞台裏の思い出に聞き入る会員一人一人が、当時の自分の姿を重ねながら貴重な時間を過ごすことができました。感謝申し上げます。

いつの日かまた、安芸高が甲子園出場を果たし、再び勝利の校歌を甲子園の空高く歌い上げる日が来ることを強く祈念し、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

**総会日程**

・平成27年7月25日(土) 午後2時30分  
・安芸市 ホテルタマイ

講演  
演題「安芸高甲子園の思い出」  
講師  
松本準一氏・橋本元成氏・川田幸八氏  
(第十六回昭和四十年卒)

**総会**

- 1 開会挨拶
- 2 会長挨拶
- 3 学校長挨拶
- 4 各支部役員挨拶
- 5 議案

- 第一号議案 平成26年度会務報告の件
  - 第二号議案 平成26年度経常会計並びに特別会計決算報告の件
  - 第三号議案 監査報告の件
  - 第四号議案 役員改選の件
  - 第五号議案 平成27年度事業計画(案)の件
  - 第六号議案 平成27年度経常会計予算案並びに特別会計予算(案)の件
  - 第七号議案 その他
  - 6 閉会挨拶
- 懇親会 総会終了後開催



**同窓会総会記念講演**

**演題 「安芸高甲子園の思い出」**

昭和三十九年第三十六回選抜高校野球大会出場メンバー

主将・三塁手 松本 準一氏  
一塁手 橋本 元成氏  
外野手 川田 幸八氏  
(高校第十六期生 昭和四十年卒業)

本年度の同窓会総会記念講演では、「安芸高甲子園の思い出」と題し、昭和三十九年第三十六回選抜高校野球大会に出場を果たされた野球部のメンバーである卒業生の松本さん、橋本さん、川田さんの三氏に、甲子園出場にまつわるエピソードや当時の野球部の活動について語っていただきました。門脇事務局長のインタビューに三氏が答える座談会形式で行われ、甲子園出場が決まった当時の盛り上がりや厳しかった練習、昭和の大きな学校の様子が語られるなど、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

Q 甲子園出場が決めた時の周囲の盛り上がりは、どのようなものでしたか？  
記憶に残るような祝福がありましたか？

松本：皆が授業を受けている最中に、僕たち野球部がユニフォーム姿で浜をラ



松本 準一氏

ニンングする姿をテレビ局が撮影するなど、それまでとは生活が一変しました。また、毎日のように安芸の川原のグラウンドに練習を見に来てくださっていた野球好きの市民の方が、僕たちの甲子園出場が決まった時に飛びついて喜んでくれたことが印象に残っています。

Q 甲子園出場決定の報せが来た時の状況は、どのようなものでしたか？

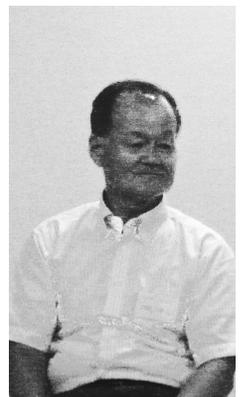
松本：学校に電話連絡があるから待機しておけということでした。甲子園出場が決まった時は、今まで見たことないほど溝淵監督が喜んで、抱きつかれました。それで「僕はや」と親父(溝淵監督)に恩返しができたんですよ」と感じましたことを覚えています。

川田：あの頃は安芸市民の方が協力的で、グラウンド作りから始まり、台風で安芸川が氾濫し大変だった時も様々な面で協力してくださいました。市民の方の協力のおかげで、甲子園に出場することができたと思います。学校の先生方も僕らが居眠りしていても、大目に見てくれました。

Q グラウンドの整備状況(練習環境)は、どのようなものでしたか？

松本：当時のグラウンドは、私が高校入学した頃に作り始め、最初は石が転がったりしていて、野球ができる環境とは言えませんでした。また、それまでは全ての部活動と一緒に練習をしており、練習するには狭いと感じていました。溝淵監督もまずは野球のできる環境づくりが大切だと話していました。当時の三年生が最後の夏の大会(に向けての練習時間)を犠牲にして、そして、全校生徒や安芸市民の方にも手伝っていただいてグラウンドができたこと、環境が整ったことが甲子園出場につながったと思います。

橋本：色々ないい出来事が重なった(から出場につながった)と思います。私たちが安芸高校に入学したのは、ちょうど阪神タイガースのキャンプ地に決まった年でした。先ほど事務



川田 幸八氏



橋本 元成氏

局長からお話があったように、安芸高校を三年計画で甲子園に出場させようという取り組みの始まりの年でもありました。たまたま私たちが三年生の時に甲子園に出場できたんですが、私たちが入学した時の三年生である森田さん、谷口さん、土方さんらがいて、この方々が土台を作って下さった。そして、二年生の並村さん、富田さん、吉川さんら、すばらしい先輩、後輩がいたことが大きかったです。甲子園出場時のレギュラーの半数以上が二年生で、すばらしい選手がそろっていました。また、指導者、学校、安芸市、ひいては卒業生の皆さんに物資の面でも協力いただいたことが大きかったと感謝しています。この場を借りてお礼申し上げます。

Q 甲子園では、初戦岐阜東高校に先制点を取られながら、三対一で勝利しました。一回戦突破した時のチームの状況は、どのようなものでしたか？

橋本：最初は緊張していて、ゲームをやっている感覚がなかったですね。しかし、先制点を取られてかえって気持ち落ち着きました。その後、チャンスがあつて、僕に打順が回って来たんですが、ベンチを見たら、親父（監督）がスクイズのサインを出しているんです。「これで失敗したら安芸に帰れん、とにかく決めないかん」という思いだけでした。

松本：甲子園は、スタンドから見たときに

「割と狭い」と感じたものの、初練習で実際にグラウンドに入ってみると、その広さに驚きました。また、グラウンドの土が綿の上を歩いているような感じで、すばらしいなあと思いました。また、あそこでやってみたいとも思います。

橋本：甲子園は本当に手入れの行き届いたグラウンドでした。五十年前も前になるので正直、試合の内容などはほとんど覚えていませんが、唯一覚えているのは、入場行進の時の芝生の感触です。未だにあの感触が足に残っています。また、楽しいことよりも苦しかったり、悔しかったりという思い出が強く残っています。あのすばらしいグラウンドでプレーできたことは、本当に幸せだと思います。

Q 入場行進の曲は、当時のヒット曲、梓みちよさんの「こんにちは赤ちゃん」だったそうですね。入場行進はいかがでしたか？

川田：僕も一緒に入場行進をしましたが、芝生のふわふわとした地面の感覚は覚えています。また、ベンチから見ても、最初はみんな緊張していましたが、点が入って逆転してからは、落ち着きを取り戻しましたが、試合経過については、私とはつきりとは覚えていませんが、試合に勝って宿舎に帰った時の普段とは全然違う監督の喜びようは、記憶に残っています。また、安芸高校の校歌が退場してから流れていて、「長いなあ」

と思ったことを覚えています。

Q 甲子園に出場する学校は校歌を歌えるように、前もって練習していく学校もあるとのことですが、皆さんはどうでしたか？

橋本：私は覚えていて、勝利の際には歌いました。

松本：私は覚えていないまま出場しました。

Q 報道陣とのやり取りは、何か記憶にありますか？

松本：今の甲子園は、ヒーローインタビューやキャプテン、監督へのインタビューがあるが、当時はなく、特に記憶には残っていません。

Q 当時の高石校長先生はどのような方でしたか？ 激励の言葉など、心に残っているエピソードはありますか？

松本：当時、学校が終わってからグラウンドまで練習に行かなければならなかったのですが、甲子園行きが決まっただけで、野球部の生徒は掃除をせずに練習に行かせてくれるといった配慮をしてくれました。

橋本：校長室によくお邪魔したことは覚えていますが、当時は渡り廊下のところどうどんを作っていて、それをこちそうになつたり、「飯を食べようか？」などの声掛けをいただいたりしたことを覚えています。

Q 甲子園行きを決めた皆さんは、随分モ

テたと思えますが、女子生徒の反応はいかがでしたか？

橋本：残念ながらそういうことはございません。野球・バット一筋でした。

Q 新聞記事によると、橋本さんは「豪打」だとありますが、どのような練習をされていきましたか？

橋本：親父（監督）に、「学校が終わってから日が暮れるまでの普段の練習時間、どの学校も同じ。そこから、どれくらい努力するかで結果が出る」と言われていました。ナイター設備はなかったのですが、一年生が懐中電灯で照らしている中で練習をしました。休みは朝から夜遅くまで、それが毎回続きました。

Q 勉強と野球との両立は大変だったと思えますが、学習面はどうでしたか？

橋本：いい友人に恵まれていたおかげで、勉強面ではクラスの仲間を支えられ、どうにか卒業させていただきました。

川田：高校を卒業し就職して帰ってきた時、担任の先生から「君の就職した時の成績証明を作るときには苦労したよ」と言われてしまいました。

Q 溝淵監督は高知県の野球の礎を築いた監督の一人だと思えますが、監督の厳しさはどのようなものでしたか？

松本：溝淵監督に人生を変えてもらったという思いがあります。確かに厳しかった。監督に怒られて練習させて

もらえないこともありました。「往ね」と言われて、でも本当に帰ったら、おしまいですよ。だから、グラウンドの外に出て、入れてもらえるのをずっと待っていました。

本当にグラウンド上では鬼のようでした。当時、安芸橋に（指導のために来る）監督の車が見えると、全員の雰囲気さがらつと変わるほどでした。けれど、グラウンドを一步出たら、自分の親よりも優しい人でした。また、もう一つ忘れられない出来事があります。甲子園を決める四国大会で、徳島県の海南高校に勝つて、次が土佐高校との決勝でした。それまで土佐との練習試合では、安芸高校が勝っていたにもかかわらず、高知県予選では三対二で負け、同じように四国大会でも決勝で負けて、宿舎に帰った時には選手全員が呼ばれて正座させられ、延々と指導を受けました。

橋本：親父（監督）は「言わず語らず」という部分がありました。また、個々の生徒の良さを見て、的確に伸ばす力を持っていた。いいか悪いかはわかりませんが、当時はバットで腰をたたくといったことは日常茶飯事だった。石も飛んできた。今では考えられないことかもしれませんが、選手には「叩かれても仕方ないことを自分はしたのだ」と納得している部分があった。それは監督が個々の選手の性格というものをきちんと把握してくれていたからだと思いま

す。

川田：私は当時眼鏡をかけていたんですが、ビンタが飛んでくる時に備えて、親父（監督）の前では外すようにしていました。技術的な面では細かく指導された記憶はないですが、精神面では非常に厳しい指導を受けました。僕たちの練習に対する気合いが足りないと言われ、怒って「高知に帰る」と言い出した時には、みんなで監督を追いかけて、「グラウンドに戻ってください」と必死で頼みました。非常に情熱のある監督でした。

川田：今は学校も勉強が大変だと思いますが、やはり練習あるのみです。

Q 今の安芸高校野球部の後輩たちに贈りたい言葉はどんなことですか？  
川田：今は学校も勉強が大変だと思いますが、やはり練習あるのみです。

松本：練習以外にはないと思います。当時は、帰ると夕飯の前に、まずバットをとにかく振りましたね。後は、食べて寝る。これが一番！ 試験中に監督が家に来まして、「勉強しゆうか？ 勉強はせんといかんが、バットを振るがは忘れたらいかん」と言われたことを覚えています。そして、素振り一つにしても、ただ振るのではなく、コースをイメージしながら振らないといけません。

橋本：やはり素振りが大事。また、当時は私も「与えられたものをやる」でした。けれど、与えられたものをやるだけでは、考えることをしない。今思うのは、「与えられたものを自分で咀嚼して、考えてやっていく、結果を見て、また考える」その繰り返しが向上につながっていくのだと思います。それがなかなかできないんですが、バットを振ることも、それが大切だと思います。スポーツは普段からやっておかないと、即座に身体は動かない。ボールを受ける時も、本番では考える間もなく瞬発的に動かなければならないので、普段からイメージして練習しておかないといけないと思います。



## 懇親会



旧高女校歌合唱

努力剛健♪旧中校歌合唱



各支部との交流

◆同窓会本部総会

平成二十七年七月二十五日(土)  
会場 ホテルタマイ(安芸市)

◆近畿支部同窓会総会

平成二十七年七月四日(土)  
会場 大成閣  
(大阪市中央区東心斎橋)

◆東京同窓会総会

平成二十七年七月五日(日)  
会場 (東京都港区赤坂)  
(東京都千代田区九段北)

◆東海支部同窓会総会

平成二十八年二月七日(日)  
会場 アイリス愛知  
(名古屋市中区丸の内)

◆高知支部同窓会総会

平成二十八年三月二十一日(月)  
会場 高知会館  
(高知市本町)

本年度も本部、各支部同窓会総会をとおして、たくさんの方の同窓の皆様の交流が行われました。総会後の懇親会では、旧制安芸中学、安芸高等女学校、安芸高校歌をそれぞれが合唱し旧交を温めました。全国各地で社会に貢献される同窓の皆様の今後益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。  
来年度も、全国それぞれの支部で同窓の集いが予定をされております。たくさんの方の皆様の御参加を期待しております。

近畿支部同窓会総会



同窓会本部総会



東海支部同窓会総会



東京同窓会総会



平成 27 年度 各支部代表

東京同窓会長	柏戸 正英	高普 2 (S26)	〒 260-0854 千葉県千葉市中央区長洲 2-21-16
近畿支部長	水上 忠義	高普 2 (S26)	〒 638-0811 奈良県吉野郡大淀町大字土田 507-320
東海支部長	竹内 直彦	高普 9 (S33)	〒 507-0826 岐阜県多治見市脇之島町 6-67-14
高知支部長	半田久米夫	高普 7 (S31)	〒 780-0034 高知市三園町 84

### 高知県立安芸高等学校過去3年間の合格状況

平成 24 年度 合格者数			平成 25 年度 合格者数			平成 26 年度 合格者数		
国公立大学・大学校 (24)			国公立大学・大学校 (22)			国公立大学・大学校 (18)		
高知大学 9	横浜国立大学 1	広島大学 1	高知大学 8	神戸大学 1	横浜市立大学 1	広島大学 1	岡山大学 1	鳥取大学 1
高知県立大学 3	岡山大学 1	茨城大学 1	高知県立大学 6	岡山大学 1		香川大学 1	静岡県立大学 1	高知大学 3
高知工科大学 4	愛媛大学 1	鹿児島大学 1	高知工科大学 5			高知県立大学 7	高知工科大学 3	
島根県立大学 1	水産大学校 1							
関東・関東以北地区私立大学 (12)			関東・関東以北地区私立大学 (7)			関東・関東以北地区私立大学 (8)		
日本大学 3	北里大学 2	神奈川工科大学 1	専修大学 1	大東文化大学 1	千葉経済大学 1	専修大学 1	麗澤大学 1	帝京大学 4
東京国際大学 1	工学院大学 1	東海大学 2	東海大学 2	武蔵野大学 1	流通経済大学 1	東海大学 2		
相模女子大学 1	流通経済大学 1							
中京・甲信越・北陸地区私立大学 (9)			中京・甲信越・北陸地区私立大学 (5)			中京・甲信越・北陸地区私立大学 (1)		
金沢工業大学 6	大同大学 3		金沢工業大学 2	岐阜経済大学 1	名古屋学院大学 1	愛知学院大学 1		
			山梨英和大学 1					
関西地区私立大学 (68)			関西地区私立大学 (15)			関西地区私立大学 (37)		
関西大学 4	立命館大学 2	関西学院大学 1	同志社大学 2	関西大学 3	立命館大学 1	立命館大学 2	神戸薬科大学 1	関西大学 2
龍谷大学 2	京都橘大学 3	神戸女子大学 9	近畿大学 2	龍谷大学 1	京都外国語大学 2	京都女子大学 1	龍谷大学 3	京都産業大学 1
京都精華大学 1	大谷大学 4	佛教大学 3	神戸学院大学 2	桃山学院大学 1	成安造形大学 1	甲南大学 1	京都外国語大学 2	武庫川女子大学 1
京都光華女子大学 1	流通科学大学 7	大阪経済大学 1				同志社女子大 2	神戸女子大学 1	奈良大学 4
麗ノートルダム女子大 2	武庫川女子大学 3	大阪産業大学 4				京都橘大学 1	神戸学院大学 1	大阪工業大学 1
近畿大学 2	天理大学 1	関西外国語大学 2				桃山学院大学 1	近大姫路大学 1	大阪産業大学 1
甲南女子大学 9	神戸学院大学 3	奈良大学 1				梅花女子大学 1	大阪経済大学 1	大阪学院大学 2
帝塚山大学 3						神戸医療福祉大学 1	四天王寺大学 2	大阪大谷大学 1
						宝塚大学 1	京都造形芸術大学 1	
中国・四国地区私立大学 (44)			中国・四国地区私立大学 (33)			中国・四国地区私立大学 (27)		
岡山理科大学 15	就実大学 1	四国学院大学 6	松山大学 8	川崎医療福祉大学 1	岡山理科大学 6	美作大学 5	岡山理科大学 3	松山大学 3
松山大学 5	くらしき作陽大学 2	倉敷芸術科学大学 2	福山大学 4	徳島文理大学 7	四国大学 6	川崎医療福祉大学 1	四国学院大学 4	広島経済大学 1
安田女子大学 2	四国大学 3	福山大学 3	広島経済大学 1			広島国際大学 1	安田女子大学 1	四国大学 2
徳島文理大学 4	川崎医療福祉大学 1					広島工業大学 1	宇都フロンティア大学 1	徳島文理大学 4
九州地区私立大学 (0)			九州地区私立大学 (3)			九州地区私立大学 (1)		
			九州共立大学 1	西日本工業大学 2		久留米大学 1		
短期大学・短期大学校 (22)			短期大学・短期大学校 (17)			公立短期大学・私立短期大学・短期大学校 (19)		
高知学園短期大学 16	徳島文理短期大学 1		高知学園短期大学 11	作陽音楽短期大学 1	湊川短期大学 1	三重短期大学 1	倉敷市立短期大学 1	新見公立短期大学 1
大阪成蹊短期大学 1	高知短期大学 1		関西外国語短期大学 1	ポリテクカレッジ高知 2	農業大学校 1	ポリテクカレッジ高知 3	トヨタ神戸自動車大学校 1	京都建築大学校 1
神戸女子短期大学 1						高知学園短期大学 8	大阪国際大学短期大学部 1	徳島文理大学短期大学部 1
松山短期大学 1						華頂短期大学 1		
四国大学短期大学部 1								
各種・専門学校 (28)			各種・専門学校 (42)			各種・専門学校 (32)		
国立高知病院附属看護 2	高知県立幡多看護 2	龍馬看護ふくし 1	愛知県立総合看護専門学校 1	宇和島看護専門学校 1	高知病院附属看護専門学校 2	高知病院附属看護学校 1	善通寺看護学校 1	幡多看護専門学校 1
高知リハビリテーション 1	土川リハビリテーションカレッジ 3	四国医療工学 1	高知リハビリテーション学院 3	土川リハビリテーションカレッジ 2	幡多看護専門学校 1	近森病院附属看護学校 3	高知リハビリテーション学院 3	土川リハビリテーションカレッジ 5
大阪医専 1	河原医療大学校 2	大阪ビジュアルアーツ 1	四国医療工学専門学校 4	四国中央医療総合学院 1	辻製菓専門学校 1	高知医療学院 1	四国医療工学専門学校 2	RKC調理師専門学校 1
高知理美容 1	四国職業能力開発大学校 2	高知職業能力開発短期大学校 1	朝日リハビリテーション専門学校 1	Eコール社大阪専門学校 1	大阪子ども専門学校 1	四国医療専門学校 1	大阪文化服装学院 1	辻製菓専門学校 1
平成福祉 1	パンクデザイン研究所 1	岡山ビジネスカレッジ 1	RKC 調理師学校 1	大阪ビジュアルアーツ専門学校 1	岡山理科大学専門学校 2	大阪総合福祉専門学校 1	高知高等技術専門学校 2	大原簿記公務員専門学校 1
公務員学院 2	岡山理科大学専 1	大阪コミュニケーションアート 1	関西美容専門学校 1	高知県医師会看護専門学校 1	高知公務員学院 1	大阪 ECO 動物海洋 2	アミューズメディア総合 1	東京ビジュアルアーツ 1
ECC 国際外語 1	札幌公務員受験学校 1	大阪こども 1	高知情報ビジネス専門学校 6	高知福祉専門学校 1	高知バレットビジネス専門学校 1	高知情報ビジネス 2	近畿測量専門学校 1	
			高知理美容専門学校 1	龍馬看護ふくし専門学校 3	国際デザインビューティカレッジ 1			
			東洋公衆衛生学院 1	日本工学院八王子専門学校 1	文化服装学院 1			
公務員 (5)			公務員 (4)			公務員 (1)		
自衛隊 3			自衛隊 3			刑務官 1		
安芸市役所 1			高知県警察官 1					
高知県職員 1								
就 職 (8)			就 職 (15)			就 職 (4)		
【県 内】	【県 外】		【県 内】	【県 外】		【県 内】	【県 外】	
社会福祉法人ふるさと自然村 1	熊五郎 1		株式会社 ウィル 1	土佐ロイヤルホテル 1		城西館 1	日本郵便株式会社 2	
ウディクリーン 1			ホテルタマイ 1	別役林業 株式会社 1			JR 四国 1	
社会福祉法人香南会 1			社会福祉法人 香南会 1	株式会社 玉井 1				
株式会社土佐くろしお鉄道 1			株式会社 三翠園 1	株式会社 高知銀行 1				
株式会社フタガミ 1			株式会社 アベ(kizuna) 1	株式会社 ブログレス 1				
株式会社城西館 1			ベクシャップジムラ 1	菓子工房 コンセルト 1				
芸西オルソクリニック 1			株式会社 よどや 1	JA とさあき農業協同組合 1				
			社会福祉法人 守里会 1					